



2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月18日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	23,138	23.0	2,692	39.0	2,676	35.4	1,705	33.1
2023年12月期第3四半期	18,810	12.9	1,937	1.0	1,976	3.1	1,281	1.8

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 1,700百万円 (18.5%) 2023年12月期第3四半期 1,434百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	177.01	
2023年12月期第3四半期	133.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	25,643	13,686	53.4
2023年12月期	21,351	12,371	57.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 13,686百万円 2023年12月期 12,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		20.00		20.00	40.00
2024年12月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,150	10.0	2,200	13.9	2,210	12.7	1,360	9.6	141.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	9,644,554 株	2023年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	8,717 株	2023年12月期	8,717 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	9,635,837 株	2023年12月期3Q	9,635,837 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。当社は当第3四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに四半期決算説明補足資料を公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月～9月)における日本国内の経済環境は、日米の金融政策動向に起因したマーケットの乱高下が企業業績への先行き不安をもたらしました。資源エネルギー価格の変動と異常気象が農畜産物へ与える影響は深刻さを増し、労働力不足解消のための賃上げと合わせて価格転嫁があらゆるモノとサービスで進む中、消費者の生活防衛意識は高まりつつあり、当社グループが属する食品業界は舵取りが大変難しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「We make people happy.」「アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めています。

また、当連結会計年度は、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)の4期目にあたります。その中で当第3四半期連結累計期間では、以下のように昨年更新した記録をさらに塗り替えております。

- ・当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高が231億38百万円と過去最高を記録。
- ・当第3四半期連結累計期間の国内総小売売上高が477億56百万円と過去最高を記録。
- ・一店舗当たりの小売売上高が45.8百万円と過去最高を記録。
- ・37ヶ月連続、既存店売上高増を達成。

また、引き続き、先ずお客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理の徹底として工場・店舗における感染防止に取り組むとともに、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)を推進しています。また、店舗売上の拡大を進めるにあたり、フランチャイジーへのインセンティブ制度の見直しを行う予定です。

<ブランドパワー強化>

ブランドパワー強化として、お客様のデマンドに合わせたマーケティング、サーティワンらしいプロモーションを展開しました。具体的には、毎月の「新作フレーバー」として専門店ならではの魅力的なアイスクリームを新発売し、選ぶ楽しさを提供するとともに、商品ラインナップを強化いたしました。

また、世間で話題の“謎解き”をモチーフとした「アイスクリームセット」を販売し、お客様からの支持を得る一方、昨年好評を博した「サーティワンパスポート」をリニューアルし、お客様により一層楽しんでいただくことが出来ました。ひなまつりには「すみっこぐらし」、リニューアル後に高い評価を得ているハッピーフレンズでは「ドラえもん」とのコラボレーションを実現し、多くのお客様に喜ばれました。特に、幅広い世代に人気の「名探偵コナン」との初のコラボレーションは大きな成功を収め、新規顧客の獲得に貢献しました。また、トリプルポップを+100円で10個まで増やすことが出来る「よくばりフェス」では、予測をはるかに超える来店数を記録し、多くのご注文をいただきました。夏季には「スーパーマリオ」や「ポケモン」とのコラボレーションを実現し、多くのお子様に笑顔を届けました。さらに、9月には「ゴディバ」との初コラボレーションを実現し、これまで誕生日での利用を中心としていたアイスクリームケーキにおいて、新たな需要を創出する商品を投入しました。この取り組みにより、幅広い層から高い評価を得ることが出来ました。

新店舗デザインでは「F1(Flavor 1st)」、「MOMENTS」導入による店舗イメージの刷新を進めるため、店舗の全面改装を87店実施し、新店舗を含めた新デザインの導入店舗数を640店舗(ToGo店舗含む)としました。

<デジタル化>

デジタル化施策としては、予約受付も取り入れたモバイルオーダーを推進したことで、お客様の利便性向上に努めています。また、コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、870万人を超えました。会員の購入額は売上全体の36%を占めており、会員でない方に比べ購入額も30%以上多くなっています。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制しております。

全国的な原料不足および価格高騰に伴い、各ドライアイスメーカーから出荷制限がありましたが、当社では持ち帰り制限を実施し、また関係各所への迅速な働きかけを行うことで、良好な関係性を活かし、早期に対応することが出来、供給不足を乗り越えることが出来ました。

当社の組織に関しては、引き続きリモートによる就業やペーパーレス、従業員福利厚生への拡充など働き方改革による最適化を行っています。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。また、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減も図っております。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、立地や利用シーンの多様化に着目した持ち帰り専門店「ToGo店舗」は現在、主要都市を中心に21店舗出店しております。その結果、当第3四半期末国内店舗数1,023店舗と前年同期末に比べ7店舗の純増となっています。また、大学の学生食堂や社員食堂、野球場や行楽地、水族館やサービスエリアへの出店など、消費者の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当第3四半期末の国内ポーションカップその他販売等拠点（通常店舗と異なる販売拠点）数は387ヶ所、さらに台湾・ハワイで、当社が運営する海外店舗数は30店舗となります。これにより国内外合わせて当第3四半期末の当社総販売拠点数は1440ヶ所と前年同期末と比べ84ヶ所増加となっています。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、同期間過去最高の小売売上高を記録したことに牽引され、過去最高の231億38百万円（前年同期比123.0%）となりました。小売売上高も長期経営計画の4本の柱を中心に、お客様から高い人気を誇るキャラクターとのコラボレーションの実現やデマンド戦略に沿ったプロモーションの実施により、来店客数が増加したことにより、過去最高を記録しました。

売上原価は113億98百万円（前年同期比125.8%）となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、売上の伸長に比べて売上原価の抑制が図られており、売上総利益は117億40百万円（前年同期比120.4%）となりました。

販売費及び一般管理費については、新作フレーバーの告知強化を行ったことや、積極的なデジタル広告の出稿、売上が増加したことによる物流費等の販売費の増加、販売拠点拡大のための活動費の増加などにより、前年と比べて12億37百万円増加したことで、90億47百万円となりましたが、小売売上高及び当社の卸売上高を伸ばすことが出来たことにより販管費率を減少することが出来、営業利益率を押し上げることが出来ました。

以上の結果、営業利益は26億92百万円（前年同期比139.0%）となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した通期連結業績予想の当第3四半期目標を上回るものです。

また、経常利益は26億76百万円（前年同期比135.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億5百万円（前年同期比133.1%）となりますが、こちらも通期連結業績予想の当第3四半期目標を上回っております。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ42億92百万円増加の256億43百万円となりました。これは主に、現金及び預金が32億28百万円及び建設仮勘定が12億17百万円増加したことによるものであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ29億77百万円増加の119億57百万円となりました。これは主に、長期借入金18億27百万円及び預り金3億76百万円の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ13億14百万円増加の136億86百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が17億5百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月9日に公表いたしました「2023年12月期決算短信(連結)」の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2024年10月18日)に公表いたしました「2024年12月期連結業績

予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,375,448	9,604,233
売掛金	1,700,272	1,646,276
製品	1,375,234	1,253,952
原材料	608,539	670,647
貯蔵品	547,348	548,109
前払費用	312,414	393,444
未収入金	883,220	658,137
その他	186,319	198,548
流動資産合計	11,988,798	14,973,348
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,256,240	4,261,252
減価償却累計額	△2,411,539	△2,524,940
建物(純額)	1,844,701	1,736,311
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△307,288	△319,673
構築物(純額)	137,661	125,276
機械及び装置	4,283,010	4,370,995
減価償却累計額	△3,690,814	△3,817,982
機械及び装置(純額)	592,196	553,013
賃貸店舗用設備	4,391,190	4,291,745
減価償却累計額	△2,477,660	△2,429,738
賃貸店舗用設備(純額)	1,913,530	1,862,006
直営店舗用設備	779,039	1,066,420
減価償却累計額	△165,234	△212,618
直営店舗用設備(純額)	613,805	853,802
車両運搬具	63,713	82,247
減価償却累計額	△45,154	△52,953
車両運搬具(純額)	18,559	29,294
工具、器具及び備品	741,165	743,672
減価償却累計額	△641,147	△655,058
工具、器具及び備品(純額)	100,017	88,613
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	54,896	1,272,533
有形固定資産合計	5,970,732	7,216,214
無形固定資産		
のれん	205,133	192,625
その他	460,168	476,581
無形固定資産合計	665,302	669,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	15,526	13,029
長期前払費用	220,426	174,182
繰延税金資産	194,494	199,025
敷金及び保証金	2,178,330	2,258,833
その他	130,972	150,616
貸倒引当金	△13,438	△10,742
投資その他の資産合計	2,726,312	2,784,945
固定資産合計	9,362,347	10,670,367
資産合計	21,351,145	25,643,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	842,363	788,133
1年内返済予定の長期借入金	230,012	430,016
未払金	2,994,177	3,083,250
未払法人税等	368,463	674,612
未払消費税等	47,949	74,168
契約負債	1,867,870	2,043,962
預り金	194,404	570,606
賞与引当金	67,103	144,458
役員賞与引当金	78,800	67,425
その他	130,259	167,499
流動負債合計	6,821,403	8,044,132
固定負債		
長期借入金	514,070	2,141,557
退職給付に係る負債	72,407	88,034
役員退職慰労引当金	41,900	57,566
資産除去債務	164,865	160,926
長期預り保証金	1,325,962	1,426,034
繰延税金負債	38,708	38,954
固定負債合計	2,157,914	3,913,072
負債合計	8,979,317	11,957,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	11,255,092	12,575,323
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	12,213,938	13,534,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802	5,646
繰延ヘッジ損益	-	△15,109
為替換算調整勘定	157,086	161,804
その他の包括利益累計額合計	157,888	152,341
純資産合計	12,371,827	13,686,510
負債純資産合計	21,351,145	25,643,716

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	18,810,280	23,138,879
売上原価	9,062,641	11,398,499
売上総利益	9,747,639	11,740,379
販売費及び一般管理費	7,810,553	9,047,896
営業利益	1,937,085	2,692,483
営業外収益		
受取利息	71	81
為替差益	10,667	-
受取ロイヤリティー	30,697	22,283
受取報奨金	16,950	3,959
その他	7,186	2,860
営業外収益合計	65,574	29,184
営業外費用		
支払利息	7,003	6,140
為替差損	-	16,844
店舗設備除去損	19,466	22,296
その他	128	335
営業外費用合計	26,598	45,616
経常利益	1,976,061	2,676,052
特別利益		
固定資産売却益	-	14,117
特別利益合計	-	14,117
特別損失		
固定資産廃棄損	20,207	63,075
特別損失合計	20,207	63,075
税金等調整前四半期純利益	1,955,854	2,627,094
法人税等	673,969	921,429
四半期純利益	1,281,885	1,705,664
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,281,885	1,705,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,090	4,843
繰延ヘッジ損益	67,744	△15,109
為替換算調整勘定	82,924	4,718
その他の包括利益合計	152,759	△5,547
四半期包括利益	1,434,644	1,700,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,434,644	1,700,116
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	1,098,872千円	880,885千円
のれんの償却額	14,471	13,809